

日本の人口減少は急激に進んでおり、それに伴う税収の低下や少子高齢化等による社会保障経費の増加などにより今後の財政見通しは厳しいものとなっています。

10年、50年、100年後でも、当市が住みよいまちであり続けるためには「いつか」「誰か」ではなく「今」「私たち」が本当に必要な事業を効率的に行うための努力を続けていかなくてはならないと考えています。

市民の皆さんに当市の財政状況をご理解いただくため、毎月1つの項目に着目し、説明します。

今月は「地方税」です。

地方税とは

地方税とは、自治体が主体となって住民に対して税を課しているものを指し、道府県が課す道府県税と市町村が課す市町村税に分けられます。

地方税法で定められている代表的な道府県税には「道府県民税」「不動産取得税」「自動車税」などがあり、市町村税には「市町村民税」「固定資産税」「軽自動車税」などが挙げられます。

地方税は「普遍性(全国どこでも)」「安定性(収入が変動しにくい)」「伸縮性(自治体の意思が反映される)」「負担分任性(行政経費を住民が負担しあう)」「行政または施設との関連性(行政サービスへの対価)」が特徴として備えられている必要があります。

納めていただいた地方税は、教育・福祉・消防・救急など生活に密着した行政サービスを実施するために必要なお金として活用しています。

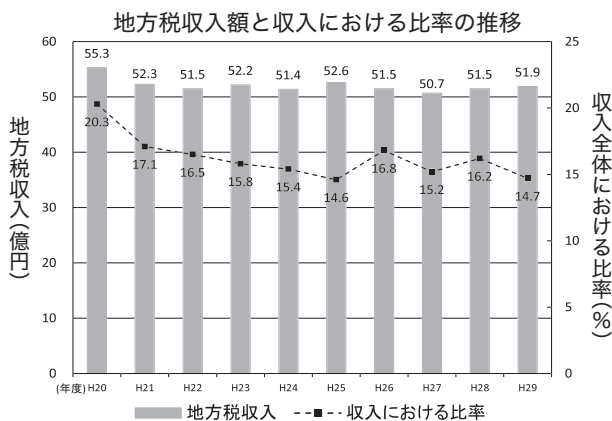
類似団体との比較 (平成29年度末時点)

平成29年度の地方税収入額を類似団体と比較すると、五所川原市が約51億円であるのに対し、類似団体では約66億円と、15億円の差があり、当市の地方税収入は類似団体の中では比較的少額であることが分かります。

地方税収入の推移

当市における過去10年間の地方税収入は、年度ごとにいくらかの変動がありますが、平均52億円前後で推移しています。

全収入に対して地方税収入が占める比率についても、平均で約16%となっており、グラフからも地方税が市の安定的な収入として当市の財政を支えていることが分かります。



今後の方針

人口減少などに伴い、今後、当市の地方税収入は減少していくものと見込まれますが、そのような中でも、今後とも住民の皆さんが当市で安心した生活を送っていただけるよう、安定した行政サービスを提供するための財源として大切に活用します。

また皆さんの納付機会の拡大のため、2019年4月1日から当市の税・料金支払をLINE Pay請求書支払いで納付できるよう整備していますので、ぜひご活用ください。

金木庁舎新築工事の地鎮祭を行いました

7月9日に金木庁舎建設用地内(現金木庁舎敷地内)において、施工業者主催の地鎮祭が行われ、市関係者のほか、県議会議員、市議会議員、設計・施工業者など関係者約50人が出席して、市長によるくわ入れや出席者が玉串をささげ、工事の安全と無事を祈願しました。

施主を代表して市長は「地域行政の拠点機能、経済性、防災対策機能の強化はもちろん、図書館と金木商工会を集約することで、地域の皆さんにとって、より身近で使いやすい庁舎として、安全第一に工事を進めてまいります」と挨拶しました。

地鎮祭を終え、今後は令和2年11月の完成を目指して、本格的な建設工事が始まります。

問…管財課 新庁舎建設準備室 内線2172



地鎮祭の様子